

バイオ系のキャリアデザイン

就職支援 **OG OB** インタビュー編

Interview ①

大阪大学大学院情報科学研究科 (助教)

岡橋 伸幸



出身大学・卒業年度：大阪大学大学院情報科学研究科 2016年度 博士課程修了

博士論文タイトル：遊離代謝物質に基づく物質生産大腸菌およびがん細胞の¹³C代謝フラックス解析に関する研究

「現在の仕事について」

◆担当職務

自身の研究を進めつつ、研究室の運営や学生の研究指導、学部や大学院の講義を行っています。

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容

学位を取った後、理化学研究所でポスドクをしました。疾患や生体恒常性の維持に関わる腸内細菌の生理活性物質を探索しました。

◆そこでのやりがい

著名な先生方と身近に議論できる点です。一流の研究者の考え方を肌で感じる事ができた経験は貴重でした。

◆現在の会社・組織（アカデミアを含む）の魅力

自由度が高く、研究内容も生活スタイルも自分で決めることができる点です。

◆現在の就職を決めた理由

これまでの経験を生かして、新しい研究が展開できそうだと考えたからです。

◆将来設計（描けるキャリアパス）

次のアカデミックポジションを取っていきたくて考えていますが、本気でやりたいことであれば、場所にこだわらず挑戦していきたいです。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

ポスドク時代の共同研究でのコミュニケーションです。分野が違えば目指すものや進め方、時間スケールも違うため、お互いの歯車が噛み合うまで時間がかかりました。研究内容も人間性も相手のことをよく知るために、こちらから積極的に出向いて議論するようにして解決しました。

◆仕事のプロになるコツ

現状に満足せず、もっと良くするにはどうすればいいか

常に考え、試行錯誤し続けることだと思います。

◆博士力、どこで発揮していますか？

ある事象に対して、解決すべき問題を設定し、目的を達成するための論理的な道筋を作っていくことを博士力と私は考えています。そういう意味では、仕事においても、日常生活においても、博士力を使わない日はありません。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

楽しいからです。新しいことが分かること、できなかったことができるようになることは嬉しく、日々飽きません。

◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

やりたいことをするためです。今は、やりたいことをしてお金を稼ぐことができているので、本当にありがたいと思います。

◆ワークライフバランスで工夫していること

睡眠時間を十分にとって、仕事のパフォーマンスを高められるように心掛けています。

◆現在の夢

自分のラボを主宰して、新しい分野を切り開き、次の時代に活躍する人を育てたいです。

「後輩へ」

◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

学生の頃に自分で考えて、頑張った経験は、内容が直接関係なくても社会人になったときの貯金になります。後悔のないように全力で学生の時間を有意義に過ごしてください。

連絡先 E-mail: n-okahashi@ist.osaka-u.ac.jp



出身大学・卒業年度：東北大学大学院農学研究科 生物産業創成科学専攻 2017年博士課程後期

博士論文タイトル：自己切断型Cre/loxP選択マーカーリサイクリングシステムの構築とそれを利用した麹菌遺伝子機能解析

「現在の仕事について」

◆担当職務

枯草菌を用いた長鎖 DNA 合成技術の有用物質生産への展開

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容

東北大学大学院の博士課程修了後、現在まで神戸大学大学院でポスドクをしています。最初の二年間で、iBioK プロジェクトで麹菌を用いた物質生産についての研究を行いました。現在、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のプロジェクトで枯草菌による人工ゲノム合成技術とゲノム編集技術を合わせた有用な微生物の研究開発を行っています。

◆そこでのやりがい

ポスドクでの最初の二年間は自分の出身分野と近い研究内容だったため、学生時代に身に付けた研究技術などを活用して取り組めたことが非常に嬉しかったです。現在自分の出身分野と異なる研究を行っており、多くの新しい技術や学問を学んでいることを感じています。

◆現在の会社・組織（アカデミアを含む）の魅力

神戸大学・バイオ生産工学研究室は、科学技術イノベーション研究科、工学研究科、先端バイオ工学研究センターなど、さまざまな研究分野の研究者が集まっている研究室です。生物が作り出すバイオ分子の特性を、素材やモノづくり技術に活かすための研究を行っているので、非常に広い知識と経験を身につけることが可能です。

◆現在の就職を決めた理由

大学院時代の指導教官である東北大学農学研究科の五味勝也教授にご紹介いただき、神戸大学のバイオ生産工学研究室に学術研究員として採用していただきました。

◆将来設計（描けるキャリアパス）

日本の大学や研究所でさまざまな研究を実践的に学ぶとともに、自分の研究をさらに展開して推し進め、今後は国際研究交流の架け橋として寄与したいと思っています。

◆挑戦したいと思っていること

バイオ研究に関わる国際的な連絡窓口を作りたい。

◆社会人として一番感動したこと

給料をもらって家族へ感謝を伝えることができたこと。また「君が来てからこのプロジェクトの進みが早くなった」という話を職場の上司から聞いた時。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

学生時代は指導教官や先輩と相談しながら研究を進めていましたが、学術研究員になってから自分が主体となることが多く、知識や経験がまだまだ足りないと感じました。勉強は学生時代のものだけではなく、生きている間はずっと続けるものであると考えて頑張っております。

◆仕事のプロになるコツ

研究者として自分のアイデアを持ち、周囲の変化に適切に対応し、新しいことにも全力で挑戦し、事実を追求することであると思います。

◆博士力、どこで発揮していますか？

学生時代に培った問題解決能力を発揮して、現職でも研究課題を成功に導くことができていると思います。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

研究が好きで、その力を社会に役立てたいからです。

◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

自分自身と家族が豊かに暮らすためだけではなく、自分の社会での価値を表しているものだと思います。

◆ワークライフバランスで工夫していること

仕事とプライベートを分けて考えて、仕事の時は研究に集中し、休みの日にはヨガやボランティアなど興味があることを楽しんで、肉体的、精神的な疲れをとるようにしています。

◆現在の夢

現在の研究に集中して、インパクトが高い論文などを投稿し、将来のキャリアのために実績や経験を積みたいのです。

◆将来の展望

何か一つでも社会の役に立つ研究をしたいです。また、

留学生であった経験を生かして、バイオ研究の世界的なネットワークを作り、国境を越えた研究者になりたいと思います。

「後輩へ」

◆**学生時代にやっておいたらよかったと思えること**
部活に参加していたらよかったと思います。現在の私は、人生において勉強だけではなく、さまざまなことに興味を持つことも重要であると思うようになりました。

◆**その他なんでも、後輩に伝えたいこと**

社会人として、日々の生活には、さまざまな知識や心構えが必要であると思います。研究の面では、自分の勉強や研究だけでなく、広い分野の人たちと付き合いながら、コミュニケーション能力を育成してください。生活の面では、さまざまな活動に参加して豊かな人生を追求することも大事なことだと思います。

連絡先 E-mail: silai.zhang.e8@tohoku.ac.jp